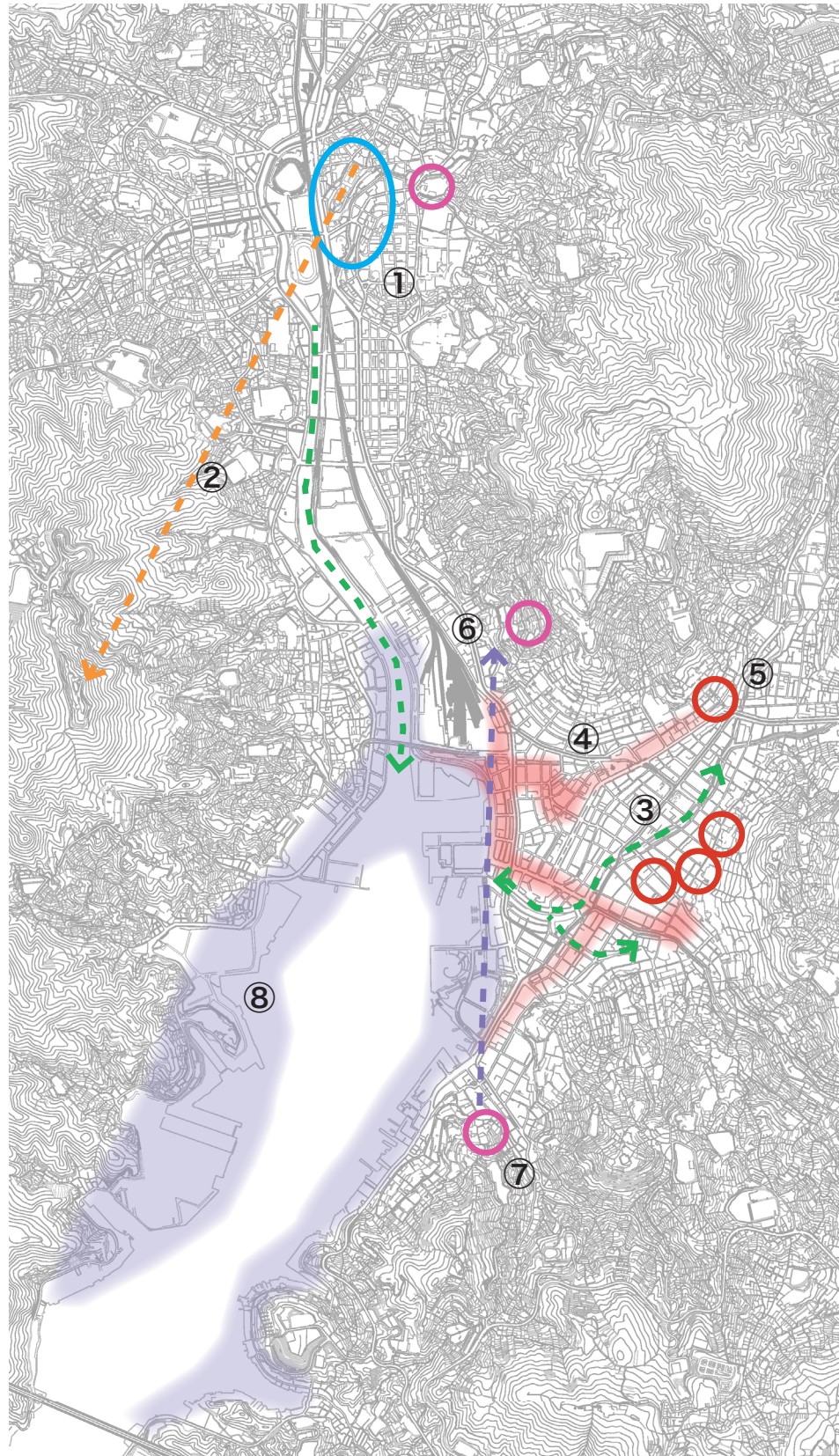


5. 光の歳時記

5. 光の歳時記
5-1. 光のイベント

長崎のまちに埋もれている様々なストーリーを光によって呼び起こすような、まち全体での光のオペレーションについて、市民の皆さんと検討し、取り組みます。



<オペレーションの例>

■ 平和を祈る季節

- : 天空に届く祈りの光 (①)
- : 平和公園と稲佐山鉄塔ライトアップの連動 (②)

■ 鎮魂の季節

- : 中島川や浦上川から海へ、鎮魂の光 (③)
- : 精霊流しの道筋に、闇が爆ぜるライトダウン (④)

■ 祭りの季節

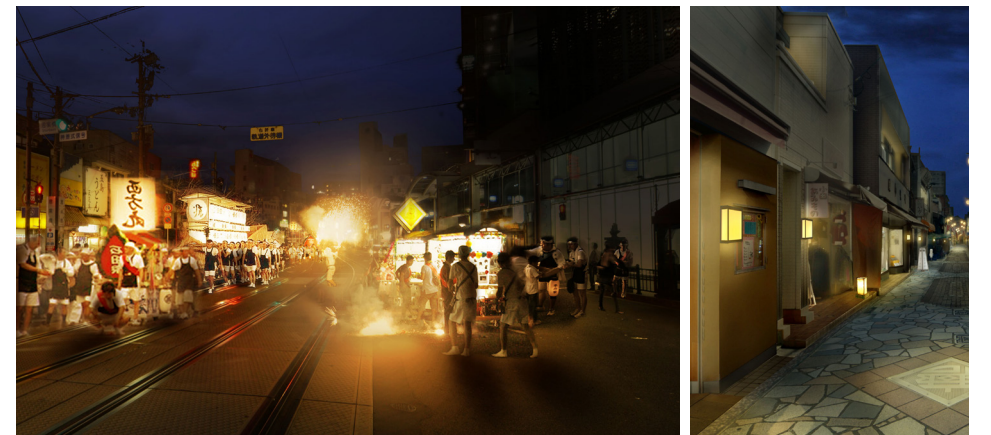
- : おくんち期間中、踊り町間の街路灯の連動 (⑤)

■ 聖夜を想う季節

- : 大浦天主堂から西坂の丘を示す光の帯 (⑥)
- : 教会群のライトアップの連動 (⑦)

■ ランタンの灯りの季節

- : 水辺でのランタン照明のイベント (⑧)



6. 今後の取り組み

6. 今後の取り組み

6-1. 節目となる時期に向けて

第1章から第5章までに記載した事業の着手時期については、長崎市で節目となる年や事業・イベントの開催等にかかる効果を最大限にするための整備を優先的に実施していきます。なお、実施にあたっては、民間事業者や地域住民と連携し、官民協働での整備を目指します。

(1) 出島表門橋の架橋に向けた整備：『出島地区、中島川・寺町地区』
出島では、平成29年11月に表門橋架橋整備完成が予定されています。中島川を軸線とした整備を行い、出島ワープや水辺の森公園といったウォーターフロントからまちなかへの誘客を図ります。

(2) 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の
世界遺産登録に向けた整備：

『東山手・南山手地区、西坂・諏訪の森地区』

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、平成30年の世界遺産登録を目指しており、構成資産（大浦天主堂）や関連遺産（日本二十六聖人殉教地）が含まれる地区を一体的に整備します。

(3) 被爆75周年に向けた整備：『平和公園地区』

被爆75周年や東京五輪開催に向け、世界的に注目が高まる地区であるため、平和の発信に相応しい整備を行っていきます。

(4) 九州新幹線西九州ルート開業に向けた整備：『長崎駅周辺地区』

新幹線開業や新県庁、新駅舎の整備など順次進められている大型事業と連携し、一体的な整備を行っていきます。

(5) その他の地区整備：

『丸山地区、館内・新地地区、春雨通り地区、市役所通り地区』

まちぶらプロジェクトによる「まちなか軸」の整備やその他大型事業、他地区のイベント等と連動した整備を行います。なお、斜面市街地や水際線についても、関係者と連携し随時整備を進めていきます。

表 長崎市における今後の主な事業・イベント

年	事業・イベント
2017 (H29)	出島表門橋架橋 新長崎県庁舎完成
2018 (H30)	「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」世界遺産登録審査
2019 (H31)	ラグビーW杯（長崎におけるスコットランドチームの事前合宿）
2020 (H32)	被爆75周年 東京オリンピック・パラリンピック
2021 (H33)	
2022～ (H34～)	新長崎市役所庁舎の完成 九州新幹線西九州ルート開業